

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式 1	上部形式 2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分	所見等
1	0012	45.19827.141.80393	秋涼橋	シュウリョウバシ	修徳線	1	鋼溶接橋	Ⅰ 桁（不明）	41.4	7.7	6.5	1995	28	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	主桁、横構で広範囲の腐食、支承部で断面減少を伴う腐食が見られた。予防保全の観点から支承部の腐食の原因である伸縮装置の止水対策も含め補修等の予防措置が望ましい。（塗装塗替、伸縮装置取替等）
														2018	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	支承に腐食が生じている為、塗装補修等の予防措置が望ましい。
2	0016	45.18033.141.60991	清明橋	セイメイバシ	豊徳豊田開拓幹線	1	鋼溶接橋	Ⅰ 桁（合成）	23.6	8.7	7.5	1982	41	2023	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	主桁添接部の腐食、伸縮装置からの漏水に起因する支承部の断面減少を伴う腐食は予防保全の観点から補修等が望ましい。（部分塗装塗替え、伸縮装置取替等）また防護柵破断は利用者被害が懸念されるため早期に補修等が望ましい。
														2018	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
3	0018	45.19207.141.79453	新小林橋	シンコバシ	東部 1 3号支線	1	PC橋	PC桁橋（その他）	14.55	5.2	4.5	1995	28	2023	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。（経過観察）なお、舗装の段差が見られた。維持による段差の是正実施が望ましい（舗装摺り付け等）
														2018	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
4	0019	45.18864.141.79271	新竹田橋	シンタケダバシ	東部12号支線	1	PC橋	PC桁橋（その他）	13.6	5.2	4.5	1995	28	2023	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。（経過観察）
														2018	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
5	0020	45.17572.141.62031	参号橋	カンゴハシ	豊里中央線支線	1	鋼溶接橋	Ⅰ 桁（合成）	22.3	7.5	6.5	1987	36	2023	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置の漏水に起因する支承部の腐食、防護柵支柱基部での地覆の鉄筋露出は予防保全の観点から補修等が望ましい。（塗装塗替え、伸縮装置取替、断面修復等）なお防護柵取付けルビゆるみは、部材脱落が懸念される為、維持対応等が望ましい。（ナット締直し等）
														2018	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
6	0025	45.17920.141.79446	移捕橋	イハシ	徳満芦川線	1	PC橋	プレテン中空床版	14.5	8.7	7.5	1987	36	2023	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。（経過観察）
														2018	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
7	0026	45.17634.141.81999	目梨別橋	メナハシ	修徳線	1	鋼溶接橋	Ⅰ 桁（不明）	39.8	7.76	6.56	1993	30	2023	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	主桁、横桁、対傾構、横構で腐食、支承部で断面減少を伴う腐食が見られた。予防保全の観点から支承部の腐食の原因である下部工の滞水対策も含め補修等の予防措置が望ましい。（塗装塗替、排水勾配構築等）
														2018	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	支承に腐食が生じている為、塗装補修等の予防措置が望ましい。
8	0030	45.17071.141.90011	豊穰橋	トヨゾウバシ	有明農地開発幹線	1	鋼溶接橋	Ⅰ 桁（合成）	30.8	7	6	1979	44	2023	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	A1支承部で支承下面にいたるモルタル欠損(支承の機能障害)が見られた。伸縮装置の止水対策と併せ早期に措置（モルタル補修、伸縮取替等）を講ずべき状態である。また、地覆の損傷は利用者被害が懸念される為、早期に断面修復等の措置が必要である。
														2018	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
9	0043	45.11475.141.66346	若草橋	ワカサハシ	豊徳3号線	2	鋼溶接橋、鋼溶接橋	Ⅰ 桁（合成）、Ⅰ 桁（合成）	44.43	6.5	5.5	1979	44	2023	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	A2G2で支承下面にいたるモルタル欠損(支承の機能障害)が見られた。伸縮装置の止水対策と併せ早期に措置(モルタル補修、伸縮取替等)を講ずべき状態である。また、利用者被害が懸念される為、防護柵・地覆は早期に対策(部分取替、断面修復等)を講じる必要がある。
														2018	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	下部工に剥離などの損傷、支承に腐食、防護柵に腐食・破断、地覆に剥離が生じている為、断面補修・塗装補修等の予防措置が望ましい。

点検橋梁総括表

No.	橋梁番号 (分割番号)	橋梁ID	橋梁名	橋梁名 フリガナ	路線名	径間数	上部形式 1	上部形式 2	橋長 (m)	全幅員 (m)	有効幅員 (m)	架設 年度	供用年	点検年	健全性判定区分							
															主桁	横桁	床版	下部 構造	支承部	その他	判定 区分	所見等
10	0061	45.07717,141.82882	泉流橋	ヒリユカヒ	東豊富線	2	鋼溶接橋, 鋼溶接橋	I 桁（合成）, I 桁（合成）	58.7	5	4	1978	45	2023	I	-	I	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	支承部で断面減少を伴う腐食が見られた。予防保全の観点から支承部の腐食の原因である伸縮装置の止水対策も含め補修等の予防措置が望ましい。（塗装塗替、伸縮装置取替等）防護柵破断は利用者被害が懸念されるため早期に再設置等が望ましい。
														2018	I	I	I	I	Ⅱ	I	Ⅱ	
11	0074	45.17936,141.79366	第1号橋	ダイイチカヒ	東部10号支線	1	PC橋	プレテン中空床版	12.05	7.7	6.5	1994	29	2023	I	-	I	I	I	I	I	損傷程度は、橋体全体としての安全度の面から軽微である。（経過観察）
														2018	I	-	I	I	I	I	I	損傷は橋体全体として軽微である為経過観察とする。
														I	8	5	11	10	4	3	4	
														I (過年度)	11	7	11	9	5	8	5	
														Ⅱ	3	1	0	1	5	4	5	
														Ⅱ (過年度)	0	0	0	2	6	2	6	
														Ⅲ	0	0	0	0	2	4	2	
														Ⅲ (過年度)	0	0	0	0	0	1	0	
														Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	
														Ⅳ (過年度)	0	0	0	0	0	0	0	
														-	0	5	0	0	0	0	0	
														-(過年度)	0	4	0	0	0	0	0	